



令和6年11月12日

各位

会社名 トモニホールディングス株式会社
代表者名 取締役社長兼CEO 中村 武
(コード番号 8600 東証プライム)
問合せ先 常務取締役経営企画部長 藤井 仁三
(TEL 087-812-0102)

期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、令和6年11月12日開催の取締役会において、令和6年5月14日に公表いたしました令和7年3月期の期末配当予想について下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 期末配当予想の修正内容

基準日	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回予想 (令和6年5月14日公表)	6円00銭 ^(注)	6円00銭	12円00銭
今回修正予想		9円00銭	16円00銭
当期実績	7円00銭		
前期実績 (令和6年3月期)	5円50銭	5円50銭	11円00銭

(注) 第2四半期末(中間)配当予想につきましては、令和6年11月6日公表の「令和7年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想及び中間配当予想の修正に関するお知らせ」により、1株当たり7円00銭に修正しております。

2. 理由

当社は、企業価値の継続的向上を図るとともに、株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題の一つとして位置づけた上で、経営体質の一層の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を勘案し、安定した配当政策を実施することを基本方針としております。

本日公表の「令和6年3月期第2四半期(中間期)決算短信」にてお知らせのとおり、当中間期の業績等は順調に推移しており、また、当期の親会社株主に帰属する当期純利益についても当初計画を上回ることが見込まれることから、1株当たりの期末配当金予想につきましては、前回予想から3円00銭増配(前期に比べて3円50銭増配)の9円00銭に修正いたします。

これにより、1株当たりの年間配当金予想は、前期に比べて5円00銭増配の16円00銭となる予定であります。

なお、令和6年5月14日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」におきまして、株主還元方針として「当面、利益の展開を見据えつつ、累進的配当を継続する。その際、配当性向と併せてDOE(純資産配当率)も意識して、配当額を決定する(当面はDOE1%を目指す)」としておりますが、今回の期末配当予想の修正により「DOE1%」の達成が見込まれることから、今後の株主還元の方向性について見直しを行い、本日「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取組状況について」を公表しておりますので、ご参照ください。

以上

本資料に記載されている配当予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の配当額は様々な要因により予想と異なる可能性があります。